

SAKASO

「さかそう」

ご自由にお持ちください

特集

心不全チーム



2026.2 Vol.76

お知らせ

「宮城県がん診療連携推進病院」指定記念 市民公開講座開催

2025年8月、坂総合病院は地域のがん医療の中核となる医療機関として「宮城県がん診療連携推進病院」の指定を受けました。今回はその記念として、地域の皆さまへ市民公開講座と院内見学ツアー・個別相談会を開催します。

①がん診療支援委員会 講演

- ◎ 当院のがん治療について～自分らしく生きるためのヒント～
呼吸器科 医長・がん診療支援室室長 神宮 大輔
- ◎ がんと薬と副作用～今と昔で何が違う？～
薬剤師 渡邊 大地
- ◎ がん患者さんご家族の支援
クリニック看護師 小原 喜久子

■日時：2026年2月21日(土) 10:00～12:00(講座受付開始9:30、閉場12:30)

■会場：坂総合病院2階 教育ステーション1・2

■問合せ：022-367-9027(坂総合病院 地域健康課)

※演題は仮題です。変更される場合があります。詳細は坂総合病院ホームページ、院内掲示物などをご覧ください。

②院内見学ツアー・個別相談会

- ◎ がんサロン、化学療法室、手術室前室 など
- ◎ 個別相談会

事前予約制

①9:30～9:50 ②12:00～12:20

ホームページはこちらから



診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただきご確認をお願いいたします。

コールセンター 022-361-8288

● 平日 8:30～16:30(小児科のみ8:00～)

● 土曜 8:30～11:30(小児科のみ8:00～)

※日曜・祝祭日、年末年始(12/30～翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

◎ 紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。

◎ 上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 🔍 検索 <https://www.m-kousei.com/saka/>

表紙について

偶然にも男性スタッフが集まり、スポーツやフィットネスに関する愛用品が揃った今回の撮影。(後列左から)福地先生は体づくりに欠かせないプロテイン。平澤先生は長年のサポーターであるベガルタ仙台のアイテム。そして薬剤師の曾我さんは野球ボールとグローブを。(前列左から)看護師の山科さんは竹刀、そして理学療法士の佐藤さんは腹筋ローラーを持参してくれました。心不全チームのアクティブな様子が伝わります。

● 表紙撮影/坂総合病院



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

SAKASO 坂総合病院 広報誌「さかそう」
2026年2月1日発行

坂総合病院
SAKA GENERAL HOSPITAL

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5
<https://www.m-kousei.com/saka/>

【広報誌に関するお問合せ】Tel 022-365-5175(代)



— 患者数が増加する心不全治療に、地域の病院としてできること —



2024年から始まったチームカンファレンス。週に一度、患者さんの状態をはじめ今後の生活指導の方針まで、チーム全員の足並みを揃えるように情報が共有される

毎回テーマを変え、坂総合病院の今を発信。
今号は心不全チームをピックアップします。

特集

心不全チーム

高齢化社会を迎え、国内の患者数が増加している心不全。
医師の平澤先生、看護師の佐々木さん、薬剤師の船山さん、理学療法士の佐藤さん、医師クラークの堺さんから、心不全チームの取組みと課題について聞きました。

—— 心不全チームはどのような職種で構成されているのでしょうか。またチームとしてどんな活動をしているのですか？



平澤 坂総合病院の心不全チームは、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、医師クラークで構成しています。ただし心不全の患者さんは循環器内科医全員が診ますし、特定の看護師だけが心不全の患者さんをケアするわけではありません。心不全治療に携わる中で、知識の足りない部分を補うお手伝いをしたり、スキルアップのために勉強会をしようと声を掛けたりするのが私たちの役割。心不全治療に関する、よろず相談所のような存在かもしれません。



船山 心不全は症状そのものだけでなく、合併症も含めた患者さんのすべてを診るべきだと思います。例えばこれまで心不全治療の薬のチェックは循環器病棟の薬剤師が中心でしたが、今では薬局全体の業務として心不全の診療に慣れていない薬剤師にもレクチャーを行う

など、薬剤師スタッフが一体となった治療方針になりました。心不全チームの一員かどうかは関係なく、治療に携わるスタッフ全員で患者さんを診ていこうとする気ががすでに院内に根付いています。

—— 医師クラークはチームの中でどんな役割を担っているのですか？



堺 心不全カンファレンスではタイムキーパー役を、チームカンファレンスでは議事録作成や対象症例のデータのまとめ役をしています。



平澤 私たち医師は堺さんが記録したデータから患者さんの再入院率を調べることがあります。このデータの蓄積が今後の臨床研究にもつながるはずです。



船山 チームにとっては縁の下の力持ちのような存在ですね。



堺 私は医療を提供する立場とは異なるからこそ、より患者さんの気持ちに寄り添えると思っています。心不全

の患者さんは塩分制限が必要になるケースが多いのですが、退院後は「ちょっと濃い味の料理が食べたいな」と感じる人も多いのではないのでしょうか。比較的身近に理解できる立場として、そうした気持ちはスタッフの皆さんに共有するようにしています。



佐藤 理学療法士としての私の主な役割は、運動を中心に患者さんの心機能の維持を促していくこと。いかに運動をしてもらえるか、気持ちの面で患者さんを支えることも大切にしています。資格の取得後は外来リハなどで調子が悪そうな患者さんを医師につなぐことも増えましたし、なるべく在宅で治療を続けられるようにと考える新たな視点を持つようになりました。よりよい状態でリハビリを実施できるように、関係職種との情報共有を続けていきたいです。

—— 坂総合病院の心不全チームには、「心不全療養指導士」(※P5で解説)の資格を持っています。資格の取得後は、どんなことを大切に患者さんと向き合っていますか？



船山 薬をきちんと飲んでいないのに状態が悪くなる人もいれば、塩分の摂りすぎや運動不足など様々な要因で心不全が再発する人もいます。そうした患者さんのために、薬剤師でありながら療養指導や生活指導までできるようにすれば、きつと地域の患者さんのためになるはず。そんなことを考えながら、日々の指導を行っています。そしてスタッフにとっては、職種の垣根



佐々木 私は心不全療養指導士の資格を持ってはいませんが、最近では看護師として患者さんの退院後まで見据えた生活指導に重点を置くようになりました。これまでは退院前の患者さんには同一の指導をしていたのですが、現在は資格を持つ看護師を中心に、生活背景などの聞き取りを踏まえて患者さんに合わせた指導を展開している

ところでは循環器病棟で勤務してから7年ほどが経ちましたが、今は理想的な生活指導が実現できている手応えを感じています。



船山 心不全療養指導士の資格を取るスタッフがいなかった頃は、どのスタッフにどの範囲まで患者さんをケアしてもらえるか、その線引きがわからないまま治療が進むこともあった。



心不全の治療は継続が大切。看護師は患者さんの生活背景を聞き取り、無理なく続けられる指導を行う

院で手術をした後のケアは当院で担当する。こうした地域での見守りができるのが当院の強みですし、やるべき仕事だと思つていきます。

壮大な話に聞こえるかもしれませんが、私は坂総合病院だけで完結させるだけではなく、この塩釜地区全体に橋渡しができるような治療の仕組みづくりをしたいんです。私たちだけがうまくいったとしても、それは地域のためにはなりません。自己満足なんでもつてのほかですし、この地域で暮らす一人ひとりが自由なく生活できるようにしたいのです。そのためには、近隣にある病院との丁寧な連携が必要です。そうして超急性期から術後慢性期まで幅広く見ながら、地域に還元できる病院として認知してもらえよう、私たちの取り組みについての情報発信やスキルアップを目指していきます。日々の仕事を実直に続け、その活動の先で「地域のために」という与えられた使命を果たしていきたいです。

りました。しかし今では網羅的に心不全の療養や指導に対応できる人員が増えてきたことで、患者さんそれぞれが抱える問題に合わせて「この場合はソーシャルワーカーに参加してもらおう」とか「看護師からの指導が必要だね」とアシストできるようになっていますし、私たち心不全チームが治療の旗振り役になれていると感じています。

——地域を支える総合病院の心不全チームとして、今感じている課題はありますか？ また今後はどんなことに取り組んでいきたいですか？



船山 心不全の患者さんの中には「元気になったら薬を飲まなくても大丈夫」と考える人が一定数います。体調に合わせて調整することもあります。薬は治療に不可欠で長い付き合いになるものもあります。そのため、退院後の生活では薬の見守りをしてくれる調剤薬局の薬剤師の存在が重要になります。患者さんが継続し

て薬を飲んでいるか。副作用はないか。こうした不安に対応していただくためにも、私たちは地域の調剤薬局と連携したいと考えています。すでに連携している調剤薬局もありますが、今後も情報発信と情報交換をしっかりと図り、患者さんへの適切な薬の処方をする最大の課題として取り組んでいきたいです。



佐藤 患者さんが転院する際、ケアマネジャーや転院先のリハビリスタッフに向けて患者さんそれぞれの運動能力やリハビリの注意点・経過などを記した文書（サマリー）を共有するのですが、その伝達をわかりやすく、丁寧に行きたいですね。しっかりと引き継ぎすることで患者さんのケアを地域でつなげられるように力を入れていきたいです。



佐々木 看護師としてもサマリーでのよりよい伝達方法を考える必要があると思っています。転院先のスタッフに重要性を理解していただけるよう、言葉で伝えるスキルを向上させることも大切かもしれません。

そして何より力を入れたいのは、患者さんが退院後も継続できるケアの方法を考えることです。昨年看護師の活動として、患者さんに退院後の生活についてヒアリングを行いました。そこでわかったのは、入院中にできていたことも退院後の継続が難しいということ。外来の診察時に継続的な指導を続けたり、難しい場合にはご家族にも協力を仰いだりしながら、患者さんと一緒にこれからの治療方針を考えることから始めていきたいです。その一方で、人員や時間が限られる中、どれくらいベストな方法で患者さんと関わっていかれるのか。若手スタッフの育成や指導にも力を入れつつ、様々なことを考えていかないといけないと感じています。



平澤 坂総合病院は地域の中核病院であることは間違いありませんが、心臓外科の手術など、できない治療があるのが現状です。それでも私たち専門医がより規模の大きな病院と連携することで、多くの治療はこの地域で完結できると思っています。例えば、仙台の病

• SAKASO TIPS •

心不全療養指導士ってどんな資格？

心不全療養指導士は、様々な医療専門職が質の高い療養指導を通じ、病院から在宅、地域医療まで幅広く心不全の患者さんをサポートする資格です。高齢化社会を迎えて心不全患者が急増している現状を踏まえ、2021年に創設されました。現在、坂総合病院では看護師・薬剤師・理学療法士の6名がこの資格を取得。スタッフ個人の研鑽になるだけでなく、循環器科医師や病棟スタッフと連携することでよりよいチーム医療の実践にもつながっています。

心不全は完治が難しい上に繰り返し発症するため、再入院につながる病気が多い病気です。この資格取得を通じて心不全について幅広い知識を持つスタッフが増えることで、患者さんの不調や心配事に素早く手を差し伸べることができるはず。ゆくゆくは再入院の抑制や身体的・経済的負担の軽減にもつながり、患者さんのQOL (Quality Of Life: 生活の質) を維持できるだけでなく、患者さんのよりよい人生に還元できると考えています (薬剤師・船山)



参考：一般社団法人日本循環器学会ホームページ (<https://www.j-circ.or.jp/chfej/>)



院長
川村 雄剛 先生
(かわむら ゆうご)



訪問診療(在宅医療)
仙台みやぎの訪問クリニック

〒983-0841
仙台市宮城野区原町2-1-59-2
TEL 022-352-6739
URL <https://www.sendai-miyagino.clinic/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 - 12:30	○	○	○	○	○		
13:30 - 17:30	○	○	○	○	○		

※受付は9:00~17:30。かかりつけ患者さんは時間外も連絡可能
休診日/土曜・日曜、祝日



連携医のご紹介 仙台みやぎの 訪問クリニック [訪問診療(在宅医療)]

「仙台みやぎの訪問クリニック」は、訪問診療を提供する在宅支援診療所です。2025年10月、仙台市宮城野区原町に開設しました。通院が難しい方々の自宅や施設に伺い、生活に寄り添う医療を丁寧に届けることを大切にしています。

私はこれまで消化器内科・内視鏡診療を専門としながら、10年以上にわたり在宅診療に取り組んできました。また、がん診療や緩和ケア、へき地医療、災害派遣、産業医など多様な現場を経験する中で、医療の本質は「その人らしい時間を支えること」

治療と日常をつなぐ丁寧な訪問医療を

「仙台みやぎの訪問クリニック」にあると強く感じてきました。病院での高度な医療と、自宅での穏やかな日常が途切れずつながる地域づくりを実現したいと考えています。通院が難しいお子さんへの訪問にも少しずつ取り組み、地域の事業所・関係機関の皆さんとともに、安心して暮らし続けられる医療体制を育てていきたいです。

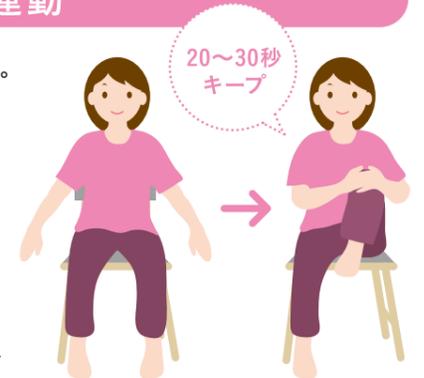
坂総合病院から
今年度開院された新しい診療所で、当院の近隣地域まで広く活躍されています。病院との迅速な連携の実績もあり、退院支援や急変時も安心です。「その人らしい時間」を支える川村先生の理念は、当院の「地域の安心を支える」とも近しいと感じています。地域医療の頼れるパートナーです。

#21 自宅で行う簡単ストレッチ⑨

「みやぎ東部健康福祉友の会」が毎月オンラインで開催している「自宅で簡単健康ストレッチ」。そこで紹介されている運動を連載で紹介いたします。今回は、お尻に効果的なストレッチです。

お尻の筋肉を伸ばす運動

- 片膝を抱え、ゆっくり息を吐き出しながら膝を胸の方へと持ち上げていく。
 - お尻や腰の筋肉が伸びているのを感じたら、そのまま姿勢を20~30秒キープする。
 - ゆっくり息を吸いながら上半身を戻していき、逆側も同様に行う。
- ★膝を抱えるのが難しい場合は膝の裏側から持ち上げると楽にできる



「運動療法センターのびのび」とは…?

坂総合クリニック1号館6階にあるメディカルフィットネス。健康増進・疾病予防運動、生活習慣病の運動療法、介護予防運動などを実践する施設です。
※現在は感染症対策のため、特定の病気の重症化予防を目的として個別にご利用いただいています

栄養手帖 ■■ -食養室だより-

おいしいお鍋、塩分に注意!

寒い冬に食べたくなるお鍋。雑炊や麺など、丕までおいしく食べたいけれど…スープの塩分、気にしていますか?

<p>すき焼き 約500kcal・塩分 4.7g</p> <p>塩分と糖分が共に多く カロリーが高めに</p>	<p>水炊き 約350kcal・塩分 1.5g</p> <p>塩分を抑えるために 出汁で煮てポン酢でどうぞ</p>	<p>キムチ鍋 約300kcal・塩分 4.3g</p> <p>市販のスープは塩分が多いので 手作りがおすすめ</p>
<p>おでん 約400kcal・塩分 3~5g</p> <p>塩分が多い練り製品は 食べ過ぎに注意!</p>	<p>鍋料理の減塩ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市販のスープを購入するより手作りを ●市販のスープは使用量を調整、もしくは半分にする ●塩分の多い練り製品や貝類は食べ過ぎに注意 	<p>市販の鍋の素 約50kcal・塩分 4~5g</p> <p>塩分多めのもの多数 スープを手作りして減塩に!</p> <p>※各カロリー・塩分量は1食分</p>
<p>もつ鍋 約280kcal・塩分 4.1g</p> <p>出汁を利用して 調味料を少なめにすると◎</p>		